

『十日盆』 精霊迎えの御案内

毎年お盆には御先祖のお精霊さん（おしよらいさん）が各家庭に帰ってこられます。水塔婆を書いて、迎え鐘をつき、高野槇の葉に乗って冥土から懐かしき我が家へ暫し里帰りされます。

こうした昔から宗派を越えたお盆行事の風習は、先祖を思う人々の篤き信仰の中に長い年月の時空を越えて脈々と受け継がれ今日に至っています。

今年はコロナウイルスの影響で何もかも中止や自粛に迫られました。当山でも、春彼岸や写経会など多くの行事で皆様方にお集まりいただくことを控えさせていただいてきました。漸くほぼ全ての規制が解かれましたが、まだ完全に安心できる状態とは言えません。三蜜を避け、出来るだけの配慮を行って取り組んで参りたいと思いますので、「十日盆」精霊迎えにお参りくださいますようお願い申し上げます。 合 掌



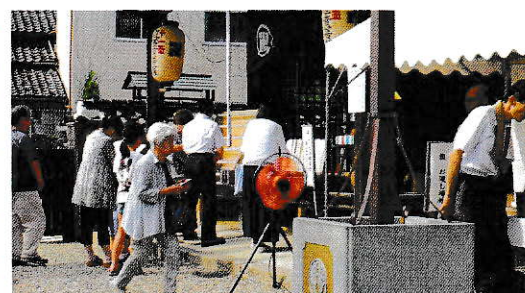
Q：十日盆の水向供養や水塔婆はどんな意味があるの？

A：仏教では死後の世界として輪廻転生する六つの世界があり、地獄、餓鬼、畜生の三悪道に落ちると限らない渴きの苦しみが待っており、それを救うのが水向供養です。それを転じて先祖に慈悲を注ぎ供養することの大切さを学び、今の自分の心も慈悲に輝く存在となることを願います。



Q：なぜ、高野槇を持って帰って仏壇に供えるの？

A：平安時代のはじめ頃、嵯峨天皇に使えていた官人である小野篁が、夜になると寺の本堂裏にある井戸をくぐってあの世に行き、閻魔大王に仕えていたとされ、あの世への出入口とし、高野槇はあの世への出入口である井戸の傍らにありました。小野篁はこの高野槇の枝を伝って井戸を降りて行き、また井戸から這い上がる時には、この枝にしがみついて上がってきたことから、あの世からお精霊さんを迎えるにあたり、お精霊さんが井戸から這い上がってこられるように、迎えに来る人は高野槇を持って、道案内をした言われています。



Q：なぜ、迎え鐘（精霊迎えの鐘）を撞くの？

A：鐘楼の鐘の音は、遠く十万億土の彼方まで届くとされ、お精霊さんはこの「迎え鐘」の音に呼ばれて、この世に戻ってくると信じられてきました。お参りされた後は、鐘楼であの世まで響くと言われる迎え鐘を撞きましょう。



今年も十日盆限定で御朱印帳への御朱印記入と、後ほど御朱印帳にお張りいただく書き置きの御朱印を用意させていただき、御希望者に授与させていただく取組を試行的に始めたいと存じます。

御希望の方は、お参りの際に御朱印帳を御持参いただくか、書き置きの御朱印をお渡しいたします。

浄土宗 向旭山 西念寺

京田辺市北里29 0774(63)2912 (62)1027

十日盆 塔婆回向の事前申し込みと駐車場について

盛夏の候、皆様方には益々御清栄の段何よりとお慶び申し上げます。平素は寺門運営のため、格別の御芳情を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、八月十日の十日盆（精霊迎え）には多数の方にお参りをいただき、誠に有り難うございます。

今年はコロナウイルス感染症の影響が長引いており、例年どおりの実施が危ぶまれましたが、現時点で緊急事態宣言や府県を越えての移動等も解除されていることから、安全に留意して実施させていただくことといたしました。何卒御理解の程、宜しくお願い申し上げます。

なお、経木塔婆を書かせていただく間の時間短縮と、都合で当日お参りいただけない方に配慮し、予め塔婆を用意させていただく事前受付を今年も実施しております。

別紙申し込み用紙に必要事項を御記入いただき、直接お寺までお届けいただくかFAX(〇七七四一六二二一〇二七)にて送信してください。

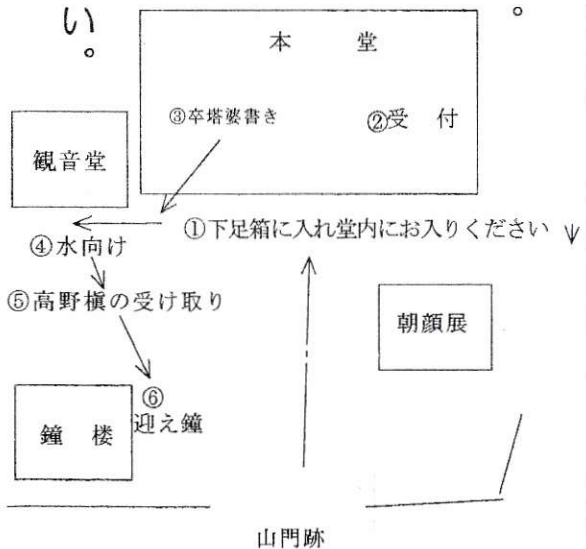
準備の都合上、申し込み〆切を七月末迄とさせていただきます。

八月に入りますと、遠方の棚経やお墓参り等が始まりますので、御理解の程宜しく願います。

また、当山の駐車場が大変狭く御迷惑をおかけいたしますが、御協力の程お願い申し上げます。例年、田辺区公民館の駐車場を臨時駐車場にお借りしておりますので合わせて御利用ください。

十日盆（お精霊迎え）の当日の流れ

- ① 正面階段より、消毒液をお使いいただき、本堂にお入りください
 - ② 「受付」にお越しいただき、
経木塔婆等をお受け取りください。
 - ③ 知恩院の僧侶、役員により卒塔婆
を書かせていただきます。
 - ④ 観音堂で水向けをしていただき、
お参りください。
 - ⑤ 高野槇を受け取ってください。
 - ⑥ 鐘楼で迎え鐘を撞いていただき、
お帰りください。
 - ⑦ 御朱印帳記入を御希望の方は、
お手持ちの朱印帳を御持参ください。
- ※ 初盆回向の方は塔婆を持ち帰り
初盆棚か仏壇にお祀りください。



令和二年七月佛日

壇 信 徒 各 位

西 念 寺